

2022年12月20日

公益財団法人SOMPO環境財団

2022年度 環境保全プロジェクト助成先を決定 ～環境分野のNPO10団体に助成～

公益財団法人SOMPO環境財団（理事長 西澤 敬二、以下「SOMPO環境財団」）は、2022年度の「環境保全プロジェクト助成」として、環境問題に取り組む10団体に合計197万円を助成することを決定しました。

1. 「環境保全プロジェクト助成」の概要

「環境保全プロジェクト助成」は環境問題解決への取り組み推進および環境分野の人材育成を目的として、環境問題に取り組む団体の活動を支援するものです。

（1）助成対象となるプロジェクト

次の3つの条件を満たすプロジェクトが対象となります。

- ①原則として、国内において「自然保護」「環境教育」「リサイクル」「気候変動対応」などの分野で、実践的活動や普及啓発活動を行うもの
- ②原則として2022年度中に開始予定のもの（すでに開始されているプロジェクトも対象）
- ③継続性、発展性を持つプロジェクトであり、その成果が公益のために貢献するもの

（2）助成対象団体

次の2つの条件を満たす団体が対象となります。

- ①2022年12月末時点で公益法人、NPO法人または任意団体としての環境保全活動実績が2年以上あること
- ②助成対象となったプロジェクトの実施状況および収支状況について適正に報告できること

2. 助成先について

2022年9月から10月にかけて募集を行ったところ、53件の応募がありました。SOMPO環境財団の認定委員会が厳正に選考し、下記の10団体への助成を決定しました。

※上記内容はSOMPO環境財団の公式ウェブサイトにも掲載しています。(<https://www.sompo-ef.org/>)

2022 年度 環境保全プロジェクト助成先一覧

No.	団体名	所在地	プロジェクト名
1	NPO 法人本州産クマゲラ研究会	岩手県	絶滅に瀕する本州産クマゲラ個体群の 生息・生態調査及びその研究
2	小幡緑地 水生園を育む会	愛知県	ササユリ、オワリサンショウウオなど 絶滅危惧種・希少種の保全・保護・調査
3	NPO 法人 藤沢グリーンスタッフの会	神奈川県	川名清水谷戸調査（水生生物）プロジェクト - 新技術「環境 DNA」を活用した生物イベン トリ作成-
4	NPO 法人 nature works	大阪府	大正川の多自然川づくり
5	阿南再生可能エネルギー研究会	徳島県	海洋エネルギー発電（波力発電）の教材 兼実用化検討用縮小モデルの開発
6	つくし野ビオトーププロジェクト	東京都	野菜作りなどを通した環境やいきもの 食べ物に対する 18 年目の体験的環境学習 （2023 ビオトーププロジェクトXⅧ）
7	利尻島ウミネココロニーに ついて考える会	北海道	外来種陸生哺乳類からウミネコを守る！ —北海道枝幸町での取り組み—
8	ミツバチサミット実行委員会	茨城県	サイエンスカフェ in ミツバチサミット 2023
9	特定非営利活動法人 国際海洋自然観察員協会	東京都	自然体験・おもしろ講座 ～Zoom 授業&フィールドで（年 3 回）海遊び、 浜辺のクリーンアップ作戦～
10	NPO 法人奥雲仙の自然を守る会	長崎県	田代原高原のミヤマキリシマの現状把握 ～ミヤマキリシマの保全に向けた問題発見と その対策～

以上